

Hope for tomorrow

第26号 令和3年4月30日(金)発行 福島県立原町高等学校3学年

第2回 新書でビブリオバトル開催!!



授業で学んだことを生かして、話すことができました。経済について、深く知ることができました。内容をもっと理解して、確実に質問に答えられたかったです。(Sさん)



みんなそれぞれ、はっきり将来の夢を考えている人、まだ迷って新書を読んで考えている人など目指したいものを意識して本を読めたと思った。(Nさん)

本の中の図を使って上手く説明できた。本の内容をみんなに伝えるのは、難しいと思ったけれど、意外とできてよかった。(Mさん)



2分間めいっぱい話して、作品のおもしろいポイントを伝えられた。本の魅力を伝えるプレゼン力が少し磨けた気がした。オチをちゃんとつけられるといいなと思った。(Uさん)

夏・秋までのスケジュールを確認しよう

一般選抜

模試を受験し、形式に慣れるとともに、弱点分野を把握し、対策していこう!

学校案内・募集要項の取り寄せ

4 5 6 7 8 9 10 11

学校推薦型
総合型選抜

夏休みまでに学校推薦型・総合型選抜を受験するか決意する

総合型選抜は9/1～、学校推薦型選抜は11/1～出願受付

学校案内・募集要項の取り寄せ

注意!【私立大】7月～総合型選抜のエントリー・面談が始まるところがあります。

探究活動が始まります!

第1体育館で行われました。みなさん集中して聞くことができました。



4月16日(木)、3年生の探究活動についてオリエンテーションが行われました。3年生では、「地方創生+SDGs」という包括的テーマのもと、自分たちの進路にかかわりの深い学問分野と関連させて課題を設定していきます。オリエンテーションでは、動画を視聴してSDGsに関する大まかな知識を得たり、今後の探究活動の流れについて説明を聞いたりしました。これまでの学びも生かして、充実した研究にしたいですね。

5月の予定



- 5月10日(月) 考查時間割発表
 - 5月11日(火) 自転車点検
 - 5月17日(月) 考查1週間前
 - 5月22日(土) 考查前学習会
 - 5月24日(月)～27日(木) 中間考查
 - 5月27日(木) 避難訓練・壮行会
 - 5月28日(金) 英語検定
 - 5月28日(金) 進研共通テスト模試(～29日)
- ※欠席遅刻等の連絡は8:15までに保護者より学校へお願いします。
原町高校 ☎0244-23-6196

この時期は考查、模試を目標に、部活と勉強を両立させる大事な時期です。インターハイの地区大会、県大会と大事な大会が続きますね。応援しています!

BookReport 紹介！仲間のレポートには発見がある！

書名：不利益のススメ～新しいデザインを求めて～

著者名：川上浩司 叢書名：岩波ジュニア新書

要約／感想：何でもIT化が進み、AIとかスピード化、効率化高機能化している今、昔のように不便で困る（不利益）は減り、便利になってよかった（利益）が主流となっている。しかし、例えばPCの普及で、書けたはずの漢字が思い出せなかったり、機械が代行し、人間の能力や労力を使わずに済み、仕事が減ったりなどの便利も増えつつある。そこで、人が人らしく能力を発揮したり、達成感や充実感、幸福を感じたり、あえて不便を楽しむことで豊かな経験をしようというのが不利益のススメである。（Sさん）

書名：看護師という生き方

著者名：宮子あずさ 叢書名：ちくまプリマー新書

要約／感想：看護師歴26年のベテラン看護師の立場から書かれた著書なので、リアルな体験談がたくさんあっておもしろい。具体的な失敗したエピソードも今につながる大切な事だと教えられるような本で私も失敗を前向きに捉えていこうと思った。これから看護師を夢としている人だけではなく、そうではない人にも、これから一度は関わるであろう看護師という存在に、この本で少しでも触れてほしいと思う。ぜひ読んでみてください。（Aさん）

書名：「再エネ大国日本」への挑戦

著者名：山口豊 叢書名：山と溪谷社

要約／感想：エネルギー問題について初心者にとっては、分かりやすく丁寧に説明したよい入門書であると感じました。前半は日本国内の事例を具体的に紹介し、地方再生と絡めながら説明されています。後半は専門家のインタビューを通して、脱化石燃料、再生エネルギーへの転換について詳しく書かれており、理解が深まりました。この本を読み、日本は大きなエネルギー問題を抱える一方で、それを解決する可能性は十分にあると感じました。（Mさん）

書名：きみのまちに未来はあるのか？「根っこ」から地域をつくる

著者名：除本理史、佐無田光 叢書名：岩波ジュニア新書

要約／感想：私の将来の夢は公務員です。この本は公務員に大切な町づくりを色々な問題があった地域の目線から発展までの過程が書いてあります。私は特に東日本大震災の被災者として福島県の飯館村の村おこしと原発事故について興味を持ちました。村の人々は自分たちから村を立て直そうとブランド牛をつくり努力を重ね復興へと近づきました。我々若者の力が強く必要とされる時代で私も地域貢献ができる公務員になりたいです。

書名：Z世代～若者はなぜインスタ・Tik Tokにハマるのか？～

著者名：原田曜平 叢書名：光文社新書

要約／感想：日本では少子高齢化が長年問題視されているため、消費の対象を人口割合も多く消費意欲が高まっているアクティブな高齢者に向けた企業も少なくはありません。しかし、我々Z世代には今までのゆとり世代とは違う自己承認欲求や発信欲求による強い拡散力があります。この本には、そんなZ世代の力を生かす彼らの特徴や傾向が事細かに書かれ、Z世代の私でも知らないことが多く、これからの経営に大きな影響を与える一冊だと思います。（Wさん）

書名：ゲノム編集の光と闇

著者名：青野由利 叢書名：ちくま新書

要約／感想：この本はゲノム編集という最先端の生命科学技術を紹介していきながら、その歴史を見ることで、私たちが手にする利益と問題点をどこで区切るべきなのかを考えさせられる本です。ゲノム編集といえば、病気などを遺伝子治療で直したりするイメージがありましたが、絶滅した種を復活させるような実験や、逆に蚊などの人に病気をもたらす種を撲滅できるのかという実験もあり、様々な面で活用されている一方で、倫理的な問題もたくさんあると思いました。（Hさん）

書名：農学が世界を救う！食料・生命・環境をめぐる化学の挑戦

著者名：生源寺真一・太田寛行・安田弘法 叢書名：岩波ジュニア新書

要約／感想：この本は、農学についてのことが書かれています。細胞や個体などの機能が詳しく書かれていたり、環境問題や地球規模での問題を農学によってどのように対処するかなども書かれています。私が印象に残っているのは、ウシのげっぷには、温室効果ガスであるメタンが含まれていることです。そして、メタン生成を抑制する物質を飼料に加えているということにも驚きました。しっかりとした対策が考えられていて、農学は奥が深いです。（Kさん）

書名：物語は人生を救うのか

著者名：千野帽子 叢書名：ちくまプリマー新書

要約／感想：「人生は物語を必要としている」と言われるが、人間は生きている限りは不可避免的にストーリーを合成してしまう。人は喜んだり、楽しんだりするだけでなく、悲しみや怒り、恨み、羨望に苦しめられ、生きづらさを感じることもある。「あの時にあの選択をしたから今の自分があるのだろうか」「自分は何のために生きているのだろうか」と、今の自分である原因や理由を探したり、人生の意味や目的への問いを立て、答えを出せずに苦しむことがある。そして出来事を勝手に繋いで因果関係を作るたびに、その物語に助けられたり、苦しめられたりする。（Sさん）